

※ 東宝70周年記念特別トークショー

10/29(火)	pm2:45~	香川京子さん(女優) 聴き手:島 敏光さん	11/10(日)	pm2:15~	堀川弘通さん(監督) 聴き手:島 敏光さん
11/2(土)	pm1:40~	土屋嘉男さん(俳優)	11/16(土)	pm1:45~	池部 良さん(俳優)
11/4(日)	pm3:00~	野上照代さん(プロダクション・マネージャー)、小泉堯史さん(監督)	11/19(火)	pm6:00~	長谷川和彦さん(監督)、水道橋博士さん(浅草キッド)

第1部 黒澤明監督セレクション

10/29(火)	どん底 天国と地獄	12:30/6:05 9:50/3:25/8:25	※	ゲスト:香川京子さん 聴き手:島 敏光さん 2:45~
10/30(水)	どん底 天国と地獄	12:50/6:00 10:00/3:10/8:20		
10/31(木)	わが青春に悔なし	1:05/6:00		
11/1(金)	生きる	10:15/3:10/8:05		
11/2(土)	七人の侍	9:45/2:20/6:15	※	ゲスト:土屋嘉男さん 1:40~
11/3(日)	七人の侍	10:10/2:05/6:00		
11/4(月)	隠し砦の三悪人 蜘蛛巣城	12:25/6:00 10:10/3:45/8:35	※	ゲスト:野上照代さん、小泉堯史さん 3:00~
11/5(火)	隠し砦の三悪人 蜘蛛巣城	9:20/2:00/6:40 11:55/4:35/9:10		
11/6(水)	野良犬	12:50/6:00		
11/7(木)	悪い奴ほどよく眠る	9:55/3:05/8:15		
11/8(金)	用心棒	10:00/2:05/6:10		
11/9(土)	椿三十郎	12:15/4:20/8:25		
11/10(日)	赤ひげ	10:45/3:00/6:30	※	ゲスト:堀川弘通さん 聴き手:島 敏光さん 2:15~
11/11(月)	赤ひげ	9:30/12:45/4:10/7:35		
11/12(火)	生きものの記録	10:20/2:25/6:30		
11/13(水)	酔いどれ天使	12:30/4:35/8:40		
11/14(木)	姿三四郎	1:00/6:00		
11/15(金)	影武者	9:45/2:45/7:45		

第2部 東宝映画名作選

11/16(土)	青い山脈 続青い山脈	10:10/2:30/6:10 12:05/4:25/8:00	※	ゲスト:池部 良さん 1:45~
11/17(日)	小早川家の秋 浮雲	9:40/2:00/6:20 11:45/4:05/8:25		
11/18(月)	雪国 夫婦善哉	9:25/2:00/6:35 11:50/4:25/9:00		
11/19(火)	青春の蹉跎 太陽を盗んだ男	9:40/1:50/6:40 11:15/3:25/8:15	※	ゲスト:長谷川和彦さん、水道橋博士さん 6:00~
11/20(水)	ブーサン ああ爆弾	11:30/3:15/7:00 9:45/1:30/5:15/9:00		
11/21(木)	華麗なる一族	10:20/2:25/6:30		
11/22(金)	西鶴一代女 人情紙風船	10:10/2:20/6:30 12:45/4:55/9:05		
11/23(土)	青べか物語 貸間あり	9:50/2:00/6:10 11:55/4:05/8:10		
11/24(日)	日本一のホラ吹き男 ニッポン無責任時代	11:20/2:55/6:30 9:45/1:20/4:55/8:25		
11/25(月)	南の島に雪が降る 雲の上団五郎一座	11:20/2:55/6:30 9:45/1:20/4:55/8:30		
11/26(火)	へそくり社長 三等重役	11:40/3:15/6:50 9:40/1:15/4:50/8:25		
11/27(水)	駅前旅館 大学の若大将	11:20/3:00/6:40 9:40/1:20/5:00/8:40		
11/28(木)	江分利満氏の優雅な生活 独立愚連隊西へ	10:40/2:35/6:30 12:40/4:35/8:30		
11/29(金)	お葬式 日本沈没	1:20/6:15 10:40/3:35/8:30		

(入場料金)
一般1500円、学生1400円、情報誌各100円引き、友の会・シニア・身障者・小学生以下(3歳以上)・ラスト1本1000円
(1本立ての場合はラスト1本割引はございません)
〔1部・2部共通前売り券〕
1回券1300円、3回券3600円、5回券5500円
(劇場窓口、及びチケットぴあにて販売中)

感動はスクリーンから
新文芸坐

池袋東口3分 TEL:03-3971-9422
<http://www.shin-bungeiza.com>

第1部 黒澤明監督セレクション

10月29日(火) ▶▶ 11月15日(金)



〔七人の侍〕 〔用心棒〕 〔天国と地獄〕

東宝70周年記念
**東宝映画
大回顧展**

〔青い山脈〕 〔ニッポン無責任時代〕 〔太陽を盗んだ男〕



第2部 東宝映画名作選

11月16日(土) ▶▶ 11月29日(金)

黒澤明監督作品 全23タイトル 究極のDVD、遂に登場! 初回限定製造BOX 単品商品 10月25日より順次発売

<p>黒澤明 DVD-BOX THE MASTERWORKS 1 2002.10.25 ON SALE</p> <p>姿三四郎 続 姿三四郎 七人の侍(2枚組) 生きものの記録 蜘蛛巣城 赤ひげ デルス・ウザーラ</p> <p>¥39,600(税別) TDV268D(7作品8枚組)</p>	<p>黒澤明 DVD-BOX THE MASTERWORKS 2 2002.12.21 ON SALE</p> <p>一番美しく わが青春に悔なし 用心棒 椿三十郎 酔いどれ天使 野良犬 どですかでん 影武者</p> <p>¥39,600(税別) TDV269D(8作品8枚組)</p>	<p>黒澤明 DVD-BOX THE MASTERWORKS 3 2003.2.21 ON SALE</p> <p>虎の尾を踏む男達 素晴らしき日曜日 悪い奴ほどよく眠る 天国と地獄 生きる どん底 隠し砦の三悪人 乱</p> <p>¥39,600(税別) TDV267D(8作品8枚組)</p>
---	---	--

充実の映像特典 / 豪華仕様愛蔵版
【映像特典:黒澤明~ 創ると云う事は素晴らしい】
【予告篇・特報収録】
【日本語字幕付き】
【全シーン・全チャプター仕様】
【豪華解説書付き】
【ピクチャーレーベル仕様】
【豪華布袋ボックス入り / 特製デジバック】

単品商品 10月25日より順次発売 ※ ¥6,000(税別) 七人の侍のみ2枚組で ¥8,000(税別)

©2002 TOHO CO., LTD.
東宝映画株式会社 ホームページ <http://www.toho-e-park.com>



池袋・東口 **新文芸坐**
TEL. 03-3971-9422

東宝映画大回顧展

第1部 黒澤明監督セレクション

10月29日(火) ~ 11月15日(金)



天国と地獄
1963年
原作：エド・マクベイン
脚本：黒澤明、小国英雄、菊島隆三、久板栄二郎
出演：三船敏郎、山崎努、香川京子
誘拐犯と捜査陣の息詰まる対決を描いたサスペンス映画の決定版。犯人の動機もくっきりと描写され、全編に渡って緊張感に溢れた人間ドラマになっている。



どん底
1957年
原作：マキシム・ゴーリキー
脚本：黒澤明、小国英雄
出演：中村錦之助、山田五十鈴、香川京子
ゴーリキーの戯曲を江戸時代の長屋に暮らす庶民の話に置き換える。入念なりハルサルを行ない、複数のカメラで一気にとり上げるという撮影方法が採用された。



生きる
1952年
脚本：黒澤明、小国英雄、橋本忍
撮影：中井朝一
出演：志村喬、小田切みき、千秋実
癌に冒された公務員の姿を通し、人間の真の生きがいを問う。主人公を演じた志村喬が、プランコに乗って「ゴンドラの唄」を口ずさむ感動シーンはあまりに有名。



わが青春に悔なし
1946年
脚本：久板栄二郎
撮影：中井朝一
出演：原節子、藤田進、大河内傳次郎
黒澤監督には珍しい女性を主人公にした作品。軍部による自由主義思想弾圧の嵐が吹き荒れる中、勇敢に立ち向かうヒロインの生きざまを描く。



七人の侍
1954年
脚本：黒澤明、小国英雄、橋本忍
撮影：中井朝一
出演：三船敏郎、志村喬、宮口精二
百姓たちに雇われた七人の侍が、野武士の群れから村を守るため戦う。撮影期間1年、上映時間207分という破格のスケール。これぞまさしく黒澤映画の金字塔。



蜘蛛巣城
1957年
脚本：ウィリアム・シェイクスピア
脚本：黒澤明、小国英雄、橋本忍、菊島隆三
出演：三船敏郎、山田五十鈴、千秋実
「マクベス」を日本の戦国時代に翻案する。能の様式を取り入れた演出、大オープンセットでの撮影など見所満載。三船敏郎が無数の矢にさらされるシーンが圧巻だ。



隠し砦の三悪人
1958年
脚本：黒澤明、菊島隆三、小国英雄、橋本忍
撮影：山崎一雄
出演：三船敏郎、上原美佐、千秋実
戦国時代を舞台に、敵の追っ手から姫君と財宝を守って敵中を突破するアクション活劇。ジョージ・ルーカスが「スター・ウォーズ」のアイデアを得るものにもなった。



悪い奴ほどよく眠る
1960年
脚本：黒澤明、小国英雄、久板栄二郎、菊島隆三、橋本忍
撮影：逢沢謙
出演：三船敏郎、加藤武、森雅之
黒澤監督自らが設立した黒澤プロで初めて製作。現代社会にはびこる政治汚職に鋭く切り込み、同時にサスペンスに満ちた娯楽映画としても成立させた画期的な作品。



野良犬
1949年
脚本：黒澤明、菊島隆三
撮影：中井朝一
出演：三船敏郎、志村喬、河村黎吉
ピストルを奪われた刑事と、そのピストルで殺人を続ける犯罪者。刑事と犯人という二人の復讐兵を戦後社会に放ち、真に向かい決着をせよという構成が巧み。



用心棒
1961年
脚本：黒澤明、菊島隆三
撮影：宮川一夫
出演：三船敏郎、東野英治郎、山田五十鈴
2つのやくざの組が縄張り争いに明け暮れる小さな宿場町。そこに桑畑三十郎と名乗る凄腕の浪人が流れて来て……、これぞ娯楽時代劇の決定版だ。痛快無比。



椿三十郎
1962年
原作：山本周五郎
脚本：黒澤明、菊島隆三、小国英雄
出演：三船敏郎、仲代達矢、加山雄三
「用心棒」に続き三船敏郎が再び三十郎役。本作では、三十郎が腹黒い家老たちの不正を暴くこととする若い侍たちを助けて活躍。ラストの決闘シーンに注目！



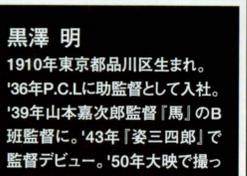
赤ひげ
1965年
原作：山本周五郎
脚本：黒澤明、井手雅人、小国英雄、菊島隆三
出演：三船敏郎、加山雄三、山崎努
江戸時代、小石川養生所を舞台に、所長の赤ひげ(三船敏郎)と若い医師(加山雄三)の葛藤とふれあいを描く。黒澤監督自身が「僕の集大成」と語る渾身の人間ドラマ。



生きものの記録
1955年
脚本：黒澤明、小国英雄、橋本忍
撮影：中井朝一
出演：三船敏郎、三好栄子、清水将夫
“核”に対する恐怖を軸にして、黒澤監督が自分の核反対の立場を力強く打ち出した作品。60歳の主人公・喜一を完璧に演じたのは、当時35歳の三船敏郎。



黒澤明
1910年東京都品川区生まれ。
'36年P.C.L.に助監督として入社。
'39年山本嘉次郎監督「馬」のB班監督に。'43年「姿三四郎」で監督デビュー。'50年大映で撮った「羅生門」がヴェネチア映画祭グランプリ、アカデミー賞最優秀外国語映画賞を受賞し一躍「クロサワ」の名は世界に知れわたる。
'98年9月6日、脳卒中のため死去。
遺作は「まあだだよ」。



酔いどれ天使
1948年
脚本：黒澤明、植草圭之助
撮影：伊藤武夫
出演：志村喬、三船敏郎、小暮実千代
闇市を支配する肺病の若いやくざと、彼を診察する貧乏な酔いどれ医師とのぶつかり合いを通して、戦後風俗を鮮やかに描き出す。三船敏郎の黒澤作品初出演作。



影武者
1980年
脚本：黒澤明、井手雅人
撮影：宮川一夫、斎藤孝雄、上田正治
出演：仲代達矢、山崎努、萩原健一
武田信玄の影武者に仕立て上げられた男と武田家滅亡にまつわる壮大な物語を躍動的かつ華麗に描く。コッポラやルーカスが外国版製作に参加したこと話題に。



姿三四郎
1943年
原作：富田常雄
脚本：黒澤明
出演：黒澤明、大河内傳次郎、河野秋武
黒澤明初監督作。だが作品の迫力・完成度はすでに一級品。コマ落しやモニター・ジュ技法を駆使した三四郎と槍垣源之助の最後の一騎打ちシーンはいま観ても新鮮。

東宝映画大回顧展

第2部 東宝映画名作選

11月16日(土) ~ 11月29日(金)

※東宝映画の基点となるのは昭和7年(1932年)に創立された写真科学研究所(P.C.L)。P.C.Lは東京宝塚劇場、J・Oスタジオとともに「東宝グループ」を形成。新鮮な芸術家作家集団を擁し、当時の映画界に新風をもたらす。東宝で活躍した監督は、黒澤明を筆頭に稲垣浩、山本嘉次郎、谷口吉吉、成瀬巳喜男、豊田四郎、市川崑、岡本喜八らの名が挙げられる。



青い山脈
1949年
監督：今井正
脚本：石坂洋次郎
出演：原節子、池部良、杉葉子
思わず主題歌を変えさみことになる青春映画の古典的名作。地方の高校を舞台に若者たちのラブストーリーなどをユーモラスに描く。



続青い山脈
1949年
監督：今井正
脚本：石坂洋次郎
出演：原節子、池部良、杉葉子
ラブストーリーの正体が明らかになり事件は解決へ。青春文学の第一人者、石坂洋次郎の名作を名匠・今井正監督が叙情豊かに映画化。



浮雲
1955年
監督：成瀬巳喜男
脚本：林芙美子
出演：高峰秀子、森雅之、岡田茉莉子
次々と女を変える兼吉、結婚まで身を落とすゆき子。別れても別れない男女の姿を冷徹に描き出す。高峰秀子、森雅之の名演が見事。成瀬巳喜男の名作中の名作。



小早川家の秋
1961年
監督・脚本：小津安二郎
脚本：野田高梧
出演：原節子、新珠三千代、司葉子
京都の造り酒屋、小早川家に集う人々の喜怒哀楽を詩情豊かに。主に松竹で撮っていた巨匠・小津安二郎監督が珍しく東宝で撮った作品。



夫婦善哉
1955年
監督：豊田四郎
脚本：織田作之助
出演：森繁久彌、淡島千景、司葉子
甲斐性な男(森繁久彌)としっかり者の女房(淡島千景)の情愛を名匠・豊田四郎監督が映画化。主人公・島村に池部良、芸者・駒子に岸恵子の配役が見事に功を奏する。



雪国
1957年
監督：豊田四郎
脚本：川端康成
出演：池部良、岸恵子、森繁久彌
川端康成の名作を文芸ものを得意とした豊田四郎監督が映画化。主人公・島村に池部良、芸者・駒子に岸恵子の配役が見事に功を奏する。



青春の蹉跎
1974年
脚本：神代辰巳
原作：石川達三
出演：萩原健一、横井かおり、堀ふみ賢一郎(萩原健一)は金持の娘と結婚するため妊娠した恋人が邪魔になり……。青春のやるせなさ、虚脱感を鬼才・神代辰巳監督が巧みに表現している。



太陽を盗んだ男
1979年
監督：長谷川和彦
脚本：長谷川和彦、レナード・シュレイダー
出演：沢田研二、菅原文太、池上季実子
中学教師が原爆を製造し政府を脅迫する。日本映画の域を越える壮大な娯楽作品。以来20年、長谷川監督の新作は待たれ続ける。



ああ爆弾
1964年
監督・脚本：岡本喜八
脚本：コーネル・ウォーリッチ
出演：伊藤雄之助、砂塚秀夫、越路吹雪
組を乗っ取られたヤクザが万年筆爆弾で報復しようとする異色痛快喜劇。浪曲に御詠歌、ジャズにワルツとBGMの使い方が楽しい。



プーサン
1953年
監督：市川崑
脚本：市川崑
原作：横山泰三
出演：伊藤雄之助、越路吹雪、八千草薫
横山泰三の漫画を諷刺コメディタッチで映画化した市川崑監督の出世作。伊藤雄之助の怪演が光る。現代社会の人々の姿をブラックユーモアに包んで描き出す。



華麗なる一族
1974年
監督：山本薩夫
脚本：山崎豊子
出演：佐分利信、月丘夢路、京マチ子
銀行家・万俣一族に渦巻く欲望、背信、愛恋……。金融界の聖域の厚いカーテンの奥を赤裸々に描き出す。娯楽性も兼ね備えた、社会派・山本薩夫監督の大作。



西鶴一代女
1952年
監督：溝口健二
脚本：井原西鶴
出演：河原崎長十郎、中村錦之助、山岸しづ江
全編渡るような無感情が漂う傑作にして異色の時代劇。28歳で戦病死した天才監督・山中貞雄の遺作。



人情紙風船
1962年
監督：山中貞雄
脚本：三村伸太郎
出演：河原崎長十郎、中村錦之助、山岸しづ江
全編渡るような無感情が漂う傑作にして異色の時代劇。28歳で戦病死した天才監督・山中貞雄の遺作。



青べか物語
1962年
監督：川島雄三
脚本：山本周五郎
出演：森繁久彌、乙羽信子、フランキー堺
さびれた漁村、浦安を舞台にした流れ者の作家と地元の人々の奇妙な交流を描く。川島雄三監督が叙情性豊かな演出を見せる。



貸間あり
1959年
監督：川島雄三
脚本：井伏鱒二
出演：フランキー堺、淡島千景、桂小金治
大阪のたばこ店に住む風変わりな人間たちの群像劇。フランキー堺の名演が見物。監督は鬼才・川島雄三。



ニッポン無責任時代
1959年
監督：吉沢豊吾
脚本：田波靖男、松本ひろし
出演：植木等、八千草、重山規子
植木等の人気を決定づけた「無責任」シリーズの記念碑的1作。空前のお調子者がアレアロと社長まで出世していく。



日本一のホラ吹き男
1962年
監督：吉沢豊吾
脚本：笠原良三
出演：植木等、谷啓、桜井セリ子
全10作のシリーズ中最も傑作の声もある第2作目。クレージー・キャッツの最盛期に当たり超過密スケジュールのなか撮影された。



南の島に雪が降る
1961年
監督：久松静児
原作：加東大介
出演：加東大介、森繁久彌、伴淳三郎
戦争末期のニューギニア。飢餓と病気に苦しむ兵士たちのため加藤軍曹は「嘘の母」を上演することに、加東大介の体験記の映画化。



雲の上団五郎一座
1962年
監督：青柳信雄
原作：菊田一夫
出演：フランキー堺、榎本健一、水谷良重
ドサドサ回劇団の団五郎(エノケン)は大劇場での公演が夢。そこに口の達者な青年演者(フランキー)が現れ……。原作は菊田一夫の舞台劇。



へそくり社長
1956年
監督：千葉泰樹
脚本：笠原良三
出演：森繁久彌、小林桂樹、八千草薫
東宝名物・社長シリーズの第1作。この後、15年間にわたって40本が製作される。森繁久彌、小林桂樹、三木のり平らが名演、怪演を披露。



三等重役
1952年
監督：春原政久
原作：源氏鶏太
出演：河村黎吉、森繁久彌、小林桂樹
本作がきっかけで東宝は56年より社長シリーズを製作。つまり本作が社長シリーズの元祖。社長役は河村黎吉で森繁久彌は人事課長。



大学の若大将
1961年
監督：杉江敏男
脚本：笠原良三、田中邦衛
出演：加山雄三、星由里子、田中邦衛
スポーツ万能、歌もうまくて、女の子にはモテモテ。お爺さん焼き屋の一人息子、田沼雄一(加山雄三)の活躍を描いた、全作17本に及ぶヒットシリーズの第1作。



駅前旅館
1958年
監督：豊田四郎
原作：井伏鱒二
出演：森繁久彌、フランキー堺、伴淳三郎
こちらも24作続いた名シリーズ。三大喜劇スターの競演も見物だが、豊田四郎監督とあって本作はしっとりとした味わいに仕上がっている。



独立愚連隊西へ
1960年
監督・脚本：岡本喜八
原作：木下尚江
出演：加山雄三、佐藤あゆみ、堺左千夫
岡本喜八監督の直木賞受賞作。洋酒メーカーの宣伝部サラマンが直木賞を受賞するまでを、アイデア豊富な岡本演出、況え渡る。



江分利満氏の優雅な生活
1963年
監督：岡本喜八
原作：山口隴
出演：藤岡弘、いしだあゆみ、小林桂樹
同名ミリオネラー小説を森谷信郎監督と中野昭博特撮監督が映画化した超大作スペクタクル。興行も記録的な大ヒットとなった。



日本沈没
1973年
監督：森谷信郎
原作：小松左京
出演：藤岡弘、いしだあゆみ、小林桂樹
同名ミリオネラー小説を森谷信郎監督と中野昭博特撮監督が映画化した超大作スペクタクル。興行も記録的な大ヒットとなった。



お葬式
1984年
監督・脚本：伊丹十三
撮影：前田米造
出演：山崎努、宮本信子、菅井きん
お葬式の仕方をビデオで勉強する主人公など、お葬式に臨む人々をコミカルに描く。伊丹十三は本作が初監督、映画賞も総ナメに。